



# いちいの会 だより

令和2年  
52号

ICHIINOKAI VOL. 52

発行/社会福祉法人 いちいの会 <http://www.ichiinokai.com>



奥多摩へ一泊旅行

## 新年を迎えるにあたって

社会福祉法人いちいの会 総合施設長 清本 健二郎

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、当法人いちいの会の事業推進に対しまして、格別のご支援とご指導を賜り厚く御礼申し上げます。関係機関、地域、家族会の皆様のおかげで、無事新年を迎えることができましたことに感謝申し上げます。

さて、昨年は自然災害により千葉県内外、多くの被害を受けました。未だ復旧にご尽力されている皆様にご心よりお見舞い申し上げます。当法人も今後の地震だけではなく自然災害に対しての対策を県内の関係団体、市行政等と協力体制を取りながら進めているところです。

話しは変わりますが、当法人では設立以来の基本理念に新たに職員に向けての理念を追加しました。「職員がやりがいをもって知識と技術を追求し、笑顔で気持ちよく仕事をする職場を目指します」(やりがいと研鑽そして笑顔の職場) 主語は法人と職員、双方が目指していくこととなります。利用者の方により良いサービスを提供するには職員の働き方にも焦点を当てていきたいと考えました。

今年もめまぐるしい世の中の変化、福祉業界の変化の波に乗り事業を進めてまいります。

今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、利用者の方々、ご家族、地域の皆様、関係各機関、各団体の皆様のご多幸を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。



### ●目次●

- ◇総合施設長挨拶 …… 1
- ◇家族会・職員合同研修会  
くすのき苑  
ワークショップ …… 2
- ◇グループホーム  
のだネット  
相談支援センター …… 3
- ◇くすのき祭  
職員日記 …… 4
- ◇旅行いろいろ …… 5
- ◇家族会ギャラリー  
新任職員紹介  
行事報告  
編集後記 …… 6

## 家族会・職員合同研修会

くすのき苑 副施設長 戸辺 泰介

恒例の家族会・職員合同研修会が、去る9月27日、柏クレストホテルにて開催されました。前年度好評だったグループディスカッションを今回も企画いたしました。

テーマは『将来について考えよう』。示すところの広い題目であるため、それぞれの参加者のおかれている立場や環境、関心の度合いによって、その受け取り方は様々でした。その分、まとまりはつきにくいものの、色々な視点からのバラエティに富んだ内容で意見を交わすことができたように思います。

清本総合施設長からは、台風15号によって県内の福祉サービス事業所が受けた被害について、実地で体験した内容を含めての報告がありました。当法人自体に大きな被害はなかったものの、被災地が身近なこともあり、皆さん熱心に聞き入っていました。

## くすのき苑

第2支援係長 伊藤 雅章

新年、あけましておめでとうございます。

ここ数年、入所はもちろんのこと、グループホームや短期利用の方も含め利用者のご家族と話をする機会が増えました。その中でとても多く聞かれるのが「これから先の未来のこと」です。くすのき苑は今年で開所20年の節目を迎えようとしていますが、当時若くして入所した方たちも20年が経ち、それなりに年を重ねてきました。あと5年、10年経った時に利用者ご本人、ご家族がどうあるか、どうあるべきかを今から想像していく必要があります。それに合わせてハード面・ソフト面の両面を準備していきたいと思います。



## ワークショップくすのき

副施設長 大谷 篤司

新年、明けましておめでとうございます。

今年は、日本中が待ち望んだ東京オリンピック。選手たちが真剣に競技と向かい合っている姿があるからこそ、観衆は声援を送り、感動させられます。私たちも、仕事・家庭・趣味と、誠意をもって向き合い、真摯に取り組むからこそ、応援していただき、手を差し伸べて助けていただける人がいる。感動を与えるまではできないかもしれませんが、それを積み重ねることで、信頼を得ることはできると思います。

私の今年のテーマは「誠意」。これを念頭におき、いろいろなことに向き合っていきたいと思います。

さて、私は次のパリオリンピックに出場するために、何の競技を始めようか…。





## グループホームかえで

生活支援係長 金 隆史

平成 18 年 9 月に開所した「グループホームかえで」から始まり、現在では市内に 5 つのホームを運営しています。十数年が経過する中で、少しずつではありますが、地域の方々から受け入れら、地域行事への参加も盛んに行えています。障害のある方の生活を地域で支えるという構図が出来てきており、とても有難く感じています。これからの課題として、建物の老朽化に対する対策、入居者の高齢化への対応等があります。入居者の方の生活が「より良いものとなる為には」を第一に、丁寧な検討を心掛けていきたいと思ひます。

## 中核地域生活支援センターのだネット

地域総合コーディネーター 五十嵐 孝子

新年明けましておめでとうございます

昨年は災害が多く発生した年でした。被害にあわれた方には、心よりお見舞い申し上げます。このあたりの地域でも避難勧告が出され、避難や備えについて考えさせられました。

障がいのある方や高齢の方は特に切実な問題です。地域の課題としてとらえ、関係機関や関係者と問題共有していく必要性を感じています。

さて、野田市では念願だった基幹相談センターが 4 月に立ち上がる予定です。当センターと役割が重なる部分も多くありますが、連携しながら住み分けが進んでいくと思われまひます。特に緊急時の対応について期待するところまひです。

今年も多様な相談に対して真摯に取り組んで参りますので、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。

## 相談支援センターいちいの木

相談支援専門員 中村 成彦

相談支援センターいちいの木では主に相談支援業務を行っておりますが、野田市に令和 2 年 4 月より、基幹相談支援センターが開設まひます。基幹相談支援センターは、①総合的・専門的な相談業務②権利擁護・虐待防止業務③地域移行・地域定着業務④地域の相談支援体制の強化の取組⑤地域の相談基幹との連携強化⑥地域の相談事業所への専門的な指導助言・人材育成を行う事業所で、地域の相談支援業務の拠点となる事業所まひです。基幹相談支援センターと地域の相談支援事業所の連携・協力等をどの様に行うかを毎月のだネット主催の相談支援専門員の集いで話し合っています。野田市での相談業務に大きな力になる事業所まひです。開設を楽しみにまひしています。



# 第19回 くすのき祭

11月3日(日)



第19回くすのき祭の実行委員長を務めました霜田侑弥です。今年度のくすのき祭は、「盛り上がり」をテーマに、お客様を巻き込んで、楽しいお祭りになりたいと考えていました。

外部販売では今回初めての施設に参加してもらいました。正面玄関で手作りパンの販売と、お食事場所にテントを立てて焼き鳥を販売してもらったのですが、殆ど完売したそうです。私も食べたかったなあ。模擬店では、焼きそば・アメリカンドック・チョコパイ・飲み物を提供しました。近隣の方をはじめ多くの方が足を運んで下さいました。ステージ発表では、関宿高校の吹奏楽部の皆さんと、木間ヶ瀬小学校の児童の皆さんの素晴らしい演奏で、お客様皆が盛り上がりました。利用者の皆さんのダンスも楽しく、職員バンドもなかなかの歌と演奏を披露してくれました。最後にメインゲストで来ていただいたバルーンMottoさんは、バルーンアートで会場にいるお客さんの目を釘付けにして大盛り上がりを見せて下さいました。

今回くすのき祭の実行委員長を務めさせて頂いて一番感じたことがあります。それは、何かを達成する為には多くの人の力が必要な事です。いちいの会の全職員、厨房の皆様、家族会の皆様、ボランティアに来て下さった皆様、他施設の皆様、ゲストの皆様等、多くの皆様の協力を得て達成できたのだと感じました。この気持ちを今後のくすのき祭に生かせるよう、より楽しいくすのき祭を開催出来ればと思います。最後に、これからも皆様のご協力ご指導の程宜しくお願いします。本当に有難うございました。



実行委員長 霜田 侑弥  
実行委員 山田 宗成 葛原 聖人 宮崎 楓  
大橋 宣彦 齋藤 貴子 中山 明日美

## 職員日記



主任生活支援員 内山裕史

野田市木間ヶ瀬から秋田県秋田市まで406キロ。406キロは私が1月から11月まで走った距離である。

休みの日や朝早く起きた日を利用してマメに走っている。走ると決めた日は雨だろうと雪だろうと欠かさず走ると決めている。何のために走っているのか?との問いに「健康のため」と言いたいところだが、「お酒を飲むため」というのが本音です。飲めないお酒は無く、何でも飲める口だが日本酒が特に好きで、一晩で四合を吞んでしまう時もある。お米が美味しい土地は日本酒も美味しいと言われているが、青森の桃川、長野の真澄、愛知の醸し人九平次、色々なお酒を吞んできたが三重の而今は格別だった。お酒好きな方は是非ともお試し下さい。

話は逸れましたが、走る楽しみは小学一年の息子と走ることでもある。最近では学校のマラソン大会に向けて特訓をして、見事5位入賞を果たした。数年後には私が追いつけない程の実力になっているかもしれない。息子の成長の楽しみと共に負けられないという親のプライドもある。彼の目の前に大きな壁として立ちほだかりたい。体の動く限り。

38歳だがまだまだ若い者には負けていられない、日々精進して楽しみながら仕事もランニングも走り続けていきたい。



## 9/9～9/10 鎌倉1泊旅行

台風の影響が心配されましたが、天候も回復して無事に旅行に行くことが出来ました。「ご当地名物を満喫しよう！」をテーマにゆっくりのんびり、美味しい物をいっぱい食べてきました。

生活支援員 霜田 郁弥



## 9/30 那珂湊日帰り旅行

昼食は大盛りの海鮮丼、食後の運動に大洗サンビーチで砂浜を散歩してきました。特に海鮮丼は利用者の方にとっても好評で、笑顔を浮かべる方や、集中し黙々と食べる方もいて、とても有意義な旅行となりました。

生活支援員 清宮 和博



## 10/7～10/8 日光1泊旅行

日光へ旅行に行ってきました。1日目は東武ワールドスクウェア。2日目はトリックアートピア日光に行きました。美味しい料理に、気持ちのよい温泉もあり、利用者の皆さんも笑顔にっこりにこの旅でした。

生活支援員 滑川 雄介



## 10/21 銚子日帰り旅行

千葉随一の漁場銚子に行ってきました。魚市場を見学し、新鮮な魚を見た利用者さんは不思議そうな顔をしていました。昼食は新鮮な魚をふんだんに使った海鮮丼、揚げ物！目一杯頬張り美味しそうに食べていました。

生活支援員 柳瀬 菜



## 11/25～11/26 奥多摩1泊旅行

秋深まる11月25日、26日に色鮮やかな紅葉を楽しむために奥多摩方面に行ってきました。秋晴れの中、写真に映えるような大自然が素晴らしく、いつもと違った環境に感動している様子でした。宿泊先はいつもならホテルや旅館ですが、今回はせっかくの大自然という事でコテージに宿泊してきました。川のせせらぎに癒されるような静かな空間で、とてもリラックスできました。

生活支援員 葛原 聖人



## 12/9～10 長瀨1泊旅行

冬の秩父長瀨、閑静なコテージで荒川の急流を眺めつつ、熱々の鍋を皆でつつきました。復路は行田さきたま古墳公園に立ち寄り、埼玉県の発祥と先人たちの歴史に思いを馳せました。

副施設長 戸辺 泰介



## 家族会ギャラリー



作品名 やぶつばき

2014年 JGS ボタニカルアート展  
神奈川新聞社賞 受賞  
鐘ヶ江 二美さんの作品  
(鐘ヶ江 秀夫さんのお母様)

「ボタニカルアート」とは、古代ヨーロッパの時代から草花や樹木を精密に描いて分類し、植物を病気の治療などに利用するために描かれてきました。やがて、時代とともにボタニカルアートは芸術的な発展を遂げ、科学と芸術の融合から生まれたアートと言われています。



ハコネウツギ

## 新任職員紹介



ワークショップくすのき

生活支援員 熊塚 洋貴

9月よりワークショップくすのきに入職しました飯塚洋貴です。

初めて福祉の職に就いて、覚えることが沢山あり非常に勉強になります。

利用者の方一人一人に寄り添った支援を目指し頑張ります。

宜しくお願いします。

## 誕生日外出



美味しいもの食べてきました！

みんな笑顔が素敵！



## 行事報告

8月

夏季帰省 8/10-17  
第3者報告会

9月

健康診断、1泊旅行、日帰り旅行  
家族会・職員合同研修会・理事会

10月

法人全大会  
1泊旅行、日帰り旅行  
第3者報告会

11月

くすのき祭、手をつなぐスポーツのつどい  
木間ヶ瀬公民館祭り、1泊旅行

12月

クリスマス会、冬季帰省 12/28-1/6  
忘年会、第3者報告会

## あとがき

「ミカンとこたつ」といえば冬の風物詩の一つでもある。ミカンは生活習慣予防にも良いらしい。今年も手が黄色になりそうだ。(内山)

新年明けましておめでとうございます。今年度も毎日楽しくのんびりとを目標に過ごしていきたい。(清宮)

## いちいの会だより VOL.52

発行 社会福祉法人 いちいの会 くすのき苑  
〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬3121  
TEL:04-7120-6667 FAX:04-7120-6668

発行人 総合施設長 清本 健二郎

編集 広報委員会 内山・清宮・中嶋

発行日 令和2年1月1日

E-mail kusunokien@nifty.com

H P URL:http://www.ichiinokai.com/